



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月2日

上場取引所 東大

上場会社名 日本管財株式会社

コード番号 9728 URL <http://www.nkanzai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 福田 慎太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長

(氏名) 原田 康弘

TEL 03-5290-5812

四半期報告書提出予定日 平成23年11月9日

配当支払開始予定日

平成23年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	36,256	△1.0	1,856	5.4	1,984	9.0	1,021	29.6
23年3月期第2四半期	36,631	3.7	1,762	9.6	1,820	33.4	788	16.4

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,033百万円 (28.8%) 23年3月期第2四半期 802百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	60.41	—
23年3月期第2四半期	45.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	36,854	25,217	64.2
23年3月期	37,233	24,780	62.3

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 23,672百万円 23年3月期 23,180百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	16.00	—	34.00	50.00
24年3月期	—	20.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	2.1	3,900	10.5	4,100	9.7	2,100	24.6	123.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	20,590,153 株	23年3月期	20,590,153 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	3,635,130 株	23年3月期	3,698,202 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	16,918,647 株	23年3月期2Q	17,148,259 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災による落ち込みから徐々に持ち直しの兆しが見え、工場の操業再開など国内企業の復興・回復への動きは強まりつつあるものの、円高の進行や欧州の財政不安等により景気後退が懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

不動産関連サービス業界におきましても、契約先のコスト削減意識の高まりや業務対象物件の閉鎖・縮小、オフィスや商業ビルの空室率の上昇など、引き続き厳しい経営環境で推移いたしました。

このような事業環境のもと、当社グループにおきましては、引き続きビルメンテナンスの周辺業務の拡大を図るとともに、PFI事業、省エネ事業等への取り組みやグループ企業の特性を活かした積極的な事業展開を図ってまいりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、大型工事等のずれ込みや前年同期に発生した不動産ファンドにおける資産の売却収入が計上されなかったため、362億56百万円(前年同四半期比1.0%減)となりました。

収益面におきましては、受託単価の伸び悩みによる収益性の圧迫はありましたが、仕入単価の見直しや時間管理の徹底を図り、管理コストの削減・抑制に努めるほか、前述の資産売却に係る費用も発生がなかったことにより、営業利益18億56百万円(前年同四半期比5.4%増)、経常利益19億84百万円(前年同四半期比9.0%増)、四半期純利益10億21百万円(前年同四半期比29.6%増)と前年同四半期を上回る結果となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(建物管理運営事業)

主たる業務であるビル管理業務及び保安警備の建物管理運営事業につきましては、不動産関連サービスの受託が堅調であったことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は315億39百万円(前年同四半期比0.6%増)となりました。

収益面におきましても、受託単価の伸び悩み等の影響もありましたが、原価率の低減を図れたことによりセグメント利益は30億43百万円(前年同四半期比2.2%増)となりました。

(環境施設管理事業)

上下水道処理施設等の公共施設管理を主体とする環境施設管理事業につきましては、ゴミ焼却施設やリサイクル施設管理を中心に新規案件の受託も概ね順調であったことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は34億85百万円(前年同四半期比1.9%増)となりました。

収益面におきましても、主要取引先である地方自治体の財政は依然として緊縮傾向にあるものの、仕入価格の見直しや適正な人員配置を中心にコスト削減に努めてまいりました結果、セグメント利益は3億円(前年同四半期比44.7%増)となりました。

(不動産ファンドマネジメント事業)

不動産ファンドの組成・資産運用を行うアセットマネジメント及び匿名組合への出資を主体とする不動産ファンドマネジメント事業につきましては、資産運用のアセットマネジメント収入は安定して計上できましたが、資産売却に伴う収益の発生がなかったことより、当第2四半期連結累計期間の売上高は2億49百万円(前年同四半期比73.7%減)となりました。

収益面におきましても、資産売却に伴う費用の発生がなかったため、セグメント利益は62百万円(前年同四半期比39.5%減)となりました。

(その他の事業)

イベントの企画・運営、印刷、デザインを主体としたその他の事業は、各種イベントの受託が堅調であったことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は9億81百万円(前年同四半期比8.5%増)、セグメント利益24百万円(前年同四半期比481.3%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 連結貸借対照表

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億79百万円(1.0%減)減少して368億54百万円となりました。

これは、固定資産取得に伴う現金及び預金の減少やマスターリース契約の解約に伴う敷金及び保証金の減少が主な要因となっております。

負債は、未払法人税等の増加に対して、支払手形及び買掛金や前述のマスターリース契約の解約に伴う預り保証金の減少により、前連結会計年度末に比べ8億16百万円(6.6%減)減少し116億37百万円となりました。

純資産は、配当金の支払いによる減少の一方、四半期純利益の計上による増加により4億36百万円(1.8%増)増加して252億円17百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.9ポイント増加し64.2%となりました。

② 連結キャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は108億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億78百万円減少しました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は11億82百万円であり、前年同四半期に比べ45百万円増加いたしました。これは、税金等調整前四半期純利益の増加や法人税等の支払額の減少等の増加要因に対して、たな卸資産や売上債権の増減額の減少等の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は10億65百万円であり、前年同四半期に比べ7億96百万円支出が増加いたしました。これは、定期預金の預入・払戻の純収入額の増加等の増加要因に対し、固定資産の取得による支出の増加等の減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は7億95百万円であり、前年同四半期に比べ7億82百万円支出が減少いたしました。これは、長期ノンリコースローンの返済による支出の減少や自己株式の取得による支出の減少等の増加要因に対し、配当金の支払額の増加等の減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、当社を取り巻く環境は、引き続き厳しい状況で推移することが予想されます。

業績予想に関しましては、概ね平成23年5月10日に公表いたしました業績予想のとおりに推移しており、通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,801,956	11,118,403
受取手形及び売掛金	8,240,981	8,074,696
事業目的匿名組合出資金	269,638	304,087
貯蔵品	71,619	73,447
販売用不動産	2,063,938	2,027,725
未収還付法人税等	10,229	—
繰延税金資産	407,612	386,628
その他	840,612	1,287,601
貸倒引当金	△40,759	△81,759
流動資産合計	23,665,826	23,190,828
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,732,981	1,884,375
機械装置及び運搬具（純額）	44,415	20,537
工具、器具及び備品（純額）	239,486	237,673
土地	1,255,093	1,693,312
リース資産（純額）	657,030	635,125
有形固定資産合計	3,929,005	4,471,022
無形固定資産		
電話加入権	34,790	34,943
ソフトウェア	568,536	480,908
のれん	124,126	50,015
リース資産	15,299	17,663
無形固定資産合計	742,751	583,529
投資その他の資産		
投資有価証券	5,075,640	5,140,873
長期貸付金	536,054	509,328
長期前払費用	8,408	4,224
敷金及び保証金	1,843,616	1,455,393
会員権	397,319	382,509
繰延税金資産	792,983	799,889
その他	1,043,530	1,059,213
貸倒引当金	△801,532	△742,525
投資その他の資産合計	8,896,018	8,608,904
固定資産合計	13,567,774	13,663,455
資産合計	37,233,600	36,854,283

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,007,277	3,795,965
1年内返済予定の長期借入金	166,000	166,000
1年内返済予定の長期ノンリコースローン	19,800	20,800
リース債務	144,388	156,380
未払費用	1,891,946	1,758,973
未払法人税等	592,106	758,496
未払消費税等	321,986	309,592
預り金	210,574	245,262
前受金	52,530	81,965
賞与引当金	617,610	596,078
役員賞与引当金	79,421	41,780
その他	96,289	51,428
流動負債合計	8,199,927	7,982,719
固定負債		
長期借入金	333,904	250,904
長期ノンリコースローン	1,313,300	1,273,600
リース債務	522,793	495,679
繰延税金負債	9,333	12,279
退職給付引当金	140,636	162,204
役員退職慰労引当金	505,994	419,198
長期預り保証金	1,173,767	783,563
資産除去債務	189,078	196,628
持分法適用に伴う負債	31,568	26,092
その他	32,818	34,199
固定負債合計	4,253,191	3,654,346
負債合計	12,453,118	11,637,065
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	498,800	498,800
利益剰余金	24,984,851	25,428,043
自己株式	△5,392,761	△5,300,801
株主資本合計	23,090,890	23,626,042
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89,336	46,247
その他の包括利益累計額合計	89,336	46,247
少数株主持分	1,600,256	1,544,929
純資産合計	24,780,482	25,217,218
負債純資産合計	37,233,600	36,854,283

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	36,631,825	36,256,353
売上原価	29,872,321	29,402,167
売上総利益	6,759,504	6,854,186
販売費及び一般管理費		
販売費	57,351	66,378
人件費	2,709,261	2,732,701
賞与引当金繰入額	235,572	229,462
役員賞与引当金繰入額	41,607	41,779
役員退職慰労引当金繰入額	42,902	15,787
退職給付費用	63,268	63,940
旅費交通費及び通信費	383,928	400,373
消耗品費	185,588	180,898
賃借料	394,070	389,793
保険料	94,131	87,385
減価償却費	181,419	191,685
租税公課	51,430	60,023
事業税	38,001	38,718
貸倒引当金繰入額	617	1,363
のれん償却額	74,306	74,111
その他	444,047	422,996
販売費及び一般管理費合計	4,997,498	4,997,392
営業利益	1,762,006	1,856,794
営業外収益		
受取利息及び配当金	88,374	89,667
受取賃貸料	19,255	19,355
持分法による投資利益	6,676	15,659
その他	36,742	61,938
営業外収益合計	151,047	186,619
営業外費用		
支払利息	14,346	20,307
投資有価証券売却損	18,927	—
賃貸費用	24,884	24,971
固定資産除売却損	6,393	1,894
その他	27,724	11,409
営業外費用合計	92,274	58,581
経常利益	1,820,779	1,984,832

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
特別損失		
投資有価証券評価損	170,989	46,616
会員権評価損	6,852	14,760
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	113,748	—
労務補償金	38,978	—
その他	11,985	—
特別損失合計	342,552	61,376
税金等調整前四半期純利益	1,478,227	1,923,456
法人税、住民税及び事業税	661,091	811,170
過年度法人税等戻入額	△2,373	—
法人税等調整額	△17,413	37,395
法人税等合計	641,305	848,565
少数株主損益調整前四半期純利益	836,922	1,074,891
少数株主利益	48,288	52,900
四半期純利益	788,634	1,021,991

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	836,922	1,074,891
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34,681	△41,520
その他の包括利益合計	△34,681	△41,520
四半期包括利益	802,241	1,033,371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	754,857	978,902
少数株主に係る四半期包括利益	47,384	54,469

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,478,227	1,923,456
減価償却費	250,397	268,236
のれん償却額	74,306	74,111
賞与引当金の増減額(△は減少)	△19,344	△21,532
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△37,352	△37,641
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△8,056	21,568
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△11,938	△86,796
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12,339	△18,007
持分法による投資損益(△は益)	△6,676	△15,659
受取利息及び受取配当金	△88,374	△89,667
支払利息	14,346	20,307
固定資産除売却損益(△は益)	6,393	1,894
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	18,927	△961
投資有価証券評価損益(△は益)	170,989	46,616
売上債権の増減額(△は増加)	446,708	199,996
事業目的匿名組合出資金の増減額(△は増加)	△687	△34,449
たな卸資産の増減額(△は増加)	634,506	34,385
その他の資産の増減額(△は増加)	△112,212	△111,967
仕入債務の増減額(△は減少)	△886,044	△547,286
未払消費税等の増減額(△は減少)	9,220	△12,394
その他の負債の増減額(△は減少)	176,598	104,255
会員権評価損	6,852	14,760
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	113,533	—
その他	15,832	10,592
小計	2,233,812	1,743,817
利息及び配当金の受取額	90,632	93,232
利息の支払額	△14,346	△20,307
法人税等の支払額	△1,173,478	△634,551
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,136,620	1,182,191

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△415,000	△300,000
定期預金の払戻による収入	55,506	305,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△242,871	△932,013
有形及び無形固定資産の売却による収入	22,642	22,334
投資有価証券の取得による支出	△611	△267,901
投資有価証券の売却による収入	180,982	100,960
出資金の回収による収入	150,000	—
貸付けによる支出	△15,070	△1,252
貸付金の回収による収入	17,155	15,061
貸借不動産保証金・敷金の増減額 (△は増加)	72,409	388,223
預り保証金の増減額 (△は減少)	△82,419	△390,204
その他	△11,555	△5,297
投資活動によるキャッシュ・フロー	△268,832	△1,065,089
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300,000	300,000
短期借入金の返済による支出	△300,000	△300,000
長期借入金の返済による支出	—	△83,000
長期ノンリコースローンの借入れによる収入	1,380,000	—
長期ノンリコースローンの返済による支出	△1,964,300	△38,700
リース債務の返済による支出	△77,622	△78,784
自己株式の処分による収入	40	87,528
自己株式の取得による支出	△590,338	△40
少数株主への出資の払戻しによる支出	—	△59,796
配当金の支払額	△276,061	△572,863
少数株主への配当金の支払額	△50,000	△50,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,578,281	△795,655
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△710,493	△678,553
現金及び現金同等物の期首残高	9,959,610	11,481,956
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,249,117	10,803,403

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	建物管理 運営事業 (千円)	環境施設 管理事業 (千円)	不動産ファン ドマネジメン ト事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への 売上高	31,361,908	3,419,236	945,841	904,840	36,631,825	—	36,631,825
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	31,361,908	3,419,236	945,841	904,840	36,631,825	—	36,631,825
セグメント利益	2,978,215	207,527	104,074	4,285	3,294,101	△1,532,095	1,762,006

(注)1 セグメント利益の調整額△1,532,095千円は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	建物管理 運営事業 (千円)	環境施設 管理事業 (千円)	不動産ファン ドマネジメン ト事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への 売上高	31,539,996	3,485,602	249,208	981,547	36,256,353	—	36,256,353
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	31,539,996	3,485,602	249,208	981,547	36,256,353	—	36,256,353
セグメント利益	3,043,628	300,292	62,916	24,910	3,431,746	△1,574,952	1,856,794

(注)1 セグメント利益の調整額△1,574,952千円は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。